

平成 27 年度繰越 地域住民生活等緊急支援交付金事業

□地域消費喚起・生活支援型（H27）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
①消費喚起プレミアム商品券発行事業	H27.4 ～ H28.3	商工会議所及び商工会がプレミアム付商品券を発行するための補助。 【内容】 プレミアム率 20%、1,000 円券 12 枚綴 46,000 冊発行（会議所管内 29,900 冊・アルプス管内 16,100 冊） 一人最高 100,000 円まで	552,000,000 円の消費喚起	商工観光課	竹田商工会議所・九州アルプス商工会商品券事業協議会が事業実施主体となり、地域における消費喚起を図り景気の回復を促すとともに、地域内の経済循環を創出するため、竹田市市制 10 周年を記念してプレミアム付き商品券を発行することができた。 【内容】 □発行総額：552,000 千円 □プレミアム率：20% □額面価格：1 千円/商品券 1 枚 12 千円/商品券 1 冊、12 枚/1 冊 □販売価格：10 千円/商品券 1 冊 □発行冊数：46,000 冊 （会議所管内：29,900 冊） （商工会管内：16,100 冊） □発売期間：H27.7.1-H27.7.9 □利用期間：H27.7.1-H27.12.31 □販売場所：竹田市内 4 ヶ所 □利用地域：竹田市内	プレミアム率 20%という関心の高さで事前告知が効果的に行われたため、552,000 千円分の商品券が 9 日間で完売した。竹田市内において、販売された全商品券利用が当初の目的であったが、換金実績を見てみると、550,966 千円（換金率 99.812%）となっており、未換金も発生した（未換金額 1,034 千円）。今回のプレミアム商品券事業にあわせ、消費者アンケートを行った。プレミアム商品券購入者全員

				<p>□購入限度：100 千円/1 人</p> <p>□購入者：地域制限しない</p> <p>□利用制限：商品券には共通券、制限券を設けることによる大型店での利用制限は設けないが、地元中小企業者で商品券が優先的に利用されるように、地元中小企業者で利用された方にさらにW抽選の特典を設けることとした。</p> <p>□取扱店舗数：508 店舗 （会議所管内：262 店舗） （商工会管内：246 店舗） （うち大型店：6 店舗）</p> <p>□広報方法：新聞折込、市報、ケーブルテレビ、会報</p> <p>□換金方法：振込又は小切手</p> <p>□換金率：99.81%</p> <p>□換金期間：H27.7.10-H28.1.29</p> <p>□事業成果：夏の中元売り出し・年末商戦に合わせ発行することで、景気の腰折れ低迷を防ぐため消費喚起を図るとともに、中小企業の利用促進による地域内の経済循環を創出することができた。</p>	<p>（4,773 人）にアンケート用紙を配布し、856 通（有効733 通、無効123 通）の回答を得た（回収率17.9%）。集計した結果、商品券での支払いに合わせ追加支出した現金等の合計は、8,810 千円に上っていることから、商品券利用が契機となり地域内に現金が循環したという結果が出た。これは一定の成果と言える。また本事業の継続を望む声が94.8%あることも判明した。事業所アンケートも同時に実施しており、売上げにはあまり変化がなかったが、顧客とのコミュニケーション強化が図られたとの結果もでている。</p>
--	--	--	--	--	--

□地方創生先行型（H27）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
①道の駅機能拠点強化事業	H27.4 ～ H28.3	地域の拠点施設として利用客数の更なる増加や産業の振興を図る機能強化対策を実施する。	道の駅利用者数：3%増	農政課	<p>●事業費 18,530,760円</p> <p>道の駅竹田利用者数（レジ通過者数）</p> <p>平成26年度 155,830人 平成27年度 158,803人</p> <p>道の駅竹田の利用者数を平成26年度と平成27年度を比較すると約2%増となっている。</p> <p>ブランドパッケージ開発等による販売促進や情報発信コーナーの整備、無料公衆無線LANを設置し道の駅の機能強化を行ったことで、利便性が高まり集客力の向上に繋がったと思われる。</p> <p>また、駐車場整備事業に関しては、大型バスを含めた収容台数の増加に加えて、道の駅の視認性向上効果も見込め更なる集客率の向上が期待される。工事完了が3月末であったため上記利用者数には反映されていないが、今後事業効果を見込むことができる。</p>	<p>2%増</p> <p>道の駅竹田利用者数</p> <p>158,803（H27） 147,145（H28） 前年度比92.7%</p>
②宿泊施設・観光施設等における無料公衆無線LANの設置事業	H27.4 ～ H28.3	無料公衆無線LANに対するニーズに応えるため、宿泊施設や観光施設等の設置に係る費用の支援を行う。 ・1機当たり2万円を上限。	無料Wi-Fiの設置施設数：40件	商工観光課	<p>●事業費 180,000円</p> <p>9件×20千円</p>	<p>観光客数</p> <p>2,701,603人（H28） 3,320,674人（H27） 3,225,003人（H26）</p>

					<p>宿泊施設、特にインバウンド受入の多い農家民泊等に支援を実施。県の無線公衆無線LAN設置事業もあり、工事費の大きい施設はそちらの事業を実施したため、目標数値に達しなかったが、市内の観光施設、宿泊施設の設置率が格段に上がったため、情報収集、SNSへの情報発信が格段に高まった。</p>	前年度比 <del>103</del> 81%
③地域における保育環境の改善事業	H27.4 ～ H28.3	保育環境の改善を図るため、施設環境の改修・修繕、屋外遊具の改修・修繕、保育備品の充実などに必要な支援を行う。市内所在する9園を対象とする。	子育て世帯の施設利用に係る満足度：100%	社会福祉課	<p>●事業費 9,399,648円          保育環境改善事業保育所空調機取替工事設計業務委託 496,800円</p> <p>竹田保育所空調機取替・遊具修繕・遊具購入          632,400円          荻保育所暖房機取替・トイレ修繕・遊具修繕・遊具購入          911,080円          白丹保育所空調機設置・備品購入          1,776,168円          保育環境整備事業費補助金(5園)          5,000,000円          内訳          小羊保育園 遊具塗装・調理室塗装・遊具用マット購入          1,293,762円に対し1,000,000円          都野保育園 幼児用マルチシンク設置          1,294,827円に対し1,000,000円</p>	<p>アンケート結果          ①事業満足度          9施設 85%          保育環境改善の必要          ②感じる 43%          ③感じない 48%</p> <p>施設ごと          竹田保育所          ①93%②48%③48%          白丹保育所          ①100%②33%          ③67%          久住保育所          ①84%②43%③56%          都野保育所          ①94%②42%③55%          小羊保育園          ①74%②43%③54%          玉来保育園          ①89%②53%③45%</p>

					<p>なおいり保育園 孔雀小屋移築・遊具塗装・遊具及び図書購入 1,325,280円に対し1,000,000円</p> <p>玉来保育園 LEDレリーフ掲示板・カーポート設置 1,047,600円に対し1,000,000円</p> <p>あさひヶ丘保育園 保育用備品・音楽教材等備品購入 1,024,286円に対し1,000,000円</p> <p>各園のニーズに沿った、遊具等の充実及び施設設備の改修を実施し保育環境の改善が図られた。</p>	<p>荻保育園 ①69%②38%③49%</p> <p>なおいりこども園 ①85%②21%③76%</p> <p>あさひヶ丘保育園 ①79%②50%③42%</p>
④移住者居住支援事業	H27.4 ～ H28.3	市への移住を後押しするため、県外からの移住に必要な住宅の新築・購入、改修費用や移転費用等に対して必要な支援を行う。 ・補助上限額を定め、県1/2、市1/2	移住定住についての相談件数の増加と移住実績：5件	企画情報課	<p>●事業対象経費 1,100,000円</p> <p>●うち県補助 550,000円 (1/2市費、1/2県費)</p> <p>補助内容の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修補助 1件 1,000,000円</li> <li>・家財処分補助 1件 100,000円</li> </ul>	<p>27年度実績 空き家バンク利用登録者数 108名 移住実績 47名(27組)</p> <p>28年度実績 空き家バンク利用登録者数 119名 移住実績 35名(14組)</p> <p>空き家バンク累計 856名</p>

⑤おおいた子育てほっとクーポン活用事業	H27.4 ～ H28.3	子育て支援サービスの利用を通じた子育て世帯の精神的・身体的・経済的負担の軽減を図り、子育てサービスの周知を行う。 ・平成27年度中に出生した子どもに1万円、県1/2、市1/2	子育て支援サービスを利用している人の割合：63.6%	社会福祉課	●事業経費 135,000円 うち県補助 67,000円  一時預かり、ファミリーサポートセンター育児支援月刊誌配本事業等の利用料として利用された。 270枚×500円	H27～H29.2利用率 H27 44.8% (35.2%) H28 7.6% (9.7%) (県平均) H28 発行実績 H27 新規 4冊 H28 新規 106冊 H28 利用実績 H27 377,500円 H28 97,000円
⑥食品産業地域連携推進事業	H27.4 ～ H28.3	食品加工企業の成長を促進するため、生産者や地域金融機関との連携の下、生産性の向上に必要な機械化に対して支援を行う。 ・県1/3、市1/3 (補助限度額500万円)	支援企業の売上伸び率：5%増	企画情報課	●総事業費 14,820,960円 ●補助対象経費 13,824,000円 ●補助金額 9,670,000円 (内1/2県費) 市内2業者が融資を受け食品加工に係る設備投資を行った。 ・(株)●●● 13,458,960円 ・■■■ 1,362,000円	2社平均11.8%
⑦農村回帰移住・定住支援事業	H27.4 ～ H28.3	本市への移住・定住を促進するため、移住定住相談会を東京・大阪・福岡で開催する。また、農村回帰フェアを東京・大阪で開催し、積極的な情報発信を行う。	情報発信件数の増、移住・定住相談件数：5%増	企画情報課	相談会実績 計8回 (H26：3回) ○内訳 東京都 5回 神奈川県 1回 京都府 1回 福岡県 1回	相談会を積極的に開催した結果、相談件数が大幅に増加(40%増)した。 件数：137件
⑧国民保養温泉地再生プロジェクト事業	H27.4 ～ H28.3	新しい滞在型、週末移住型の観光地としての仕組みづくりと情報発信を行い国民保養温泉地として、温泉地域の再生を図る。 ・温泉等の地域資源の調査・研究事業 ・ホームページやメディア等への情報発信	温泉施設等を利用する観光客数：3%増	商工観光課	●総事業費 3,497,040円 ・FNS九州ブロックネット特番放映業務委託 ・竹田式湯治博覧会事業業務委託	大分県観光動態統計 温泉施設利用者数 664,005人 (H27) 590,147人 (H26) 前年度比113%

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民向けのシンポジウム開催</li> <li>・多様な市民と協働で行うイベント開催</li> </ul>			国民保養温泉地「竹田温泉群」と着地型コンテンツの紹介等をTVやHP、SNSを通じて情報発信を実施。	
⑨新たな戦略的観光コンテンツの磨き上げ事業	H27.4 ～ H28.3	シニアとヤングのターゲットごとの新しい観光コンテンツの整備や既存コンテンツの磨き上げを行い、観光誘客を促す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな移動手段の実証実験事業</li> <li>・ガイド養成、人材育成事業</li> <li>・スポーツ等を目的にした新しい観光プログラムの開発</li> <li>・ホームページ等の情報発信ツールの作成</li> </ul>	観光客数： 3%増	商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>●総事業費 2,489,827円</li> <li>・登山バス運行委託</li> <li>・新たな戦略的観光コンテンツの磨き上げ業務委託</li> </ul>	観光客数 2,701,603人 (H28) 3,320,674人 (H27) 3,225,003人 (H26) 前年度比 <del>103</del> 81%

□地方創生先行型（上乘せ交付タイプⅡ）（H27）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
①肉用牛生産基盤拡大緊急支援事業	H27.10 ～ H28.3	「おおいた豊後牛」の安定供給に向け、繁殖農家の生産基盤を強化するための緊急増頭対策 ・県2/3、市1/3 (補助単価 10.5万円)	繁殖雌牛増頭110頭規模	畜産振興室	優良繁殖雌牛を増頭することで生産基盤の強化が図られた。 3,710,000円	110頭に対し106頭の増頭が図れた。96.3%の実施率
②おおいた豊後牛品質向上対策事業	H27.10 ～ H28.3	高品質で美味しい「おおいた豊後牛」の銘柄確立のため、県有種雄牛の精液を活用した人工授精及び受精卵移植に要する経費の助成 ・県1/3、市1/6 (人工授精補助単価 18千円) (受精卵移植補助単価 240千円)	県有種雄牛100頭規模の品質向上対策	畜産振興室	未実施 希望農家はいたが、母牛の対象要件を満たしていないため、事業実施ができなかった。	—
③移住・定住促進啓発事業（ようこそ竹田へ）	H27.10 ～ H28.3	移住・定住向けの竹田魅力を発信するDVDの作成	映像を閲覧した人の移住・定住相談件数10件	企画情報課	竹田市の魅力を伝えるための新たなPR映像を作成。全国移住ナビ、市のHPやYouTubeなどで公開。 制作：株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 4,968,000円	動画公開 H28.5.21 ダイニングアウトのHPやフジテレビ「ホウドウキョク」で放送



□28 繰地方創生加速化交付金（H28）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
①日本一ブランド戦略プロジェクト (単独事業分)	H28.3 ～ H29.3	<p>■全国レベルの農産物に竹田ならではの付加価値を付ける「プレミアムブランディング」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一のサフラン希少価値向上プロジェクト</li> <li>・たけたゴールデンかぼすプロジェクト</li> <li>・日本のパイオニア竹田しいたけプロジェクト</li> <li>・日本一ブランド化&amp;流通戦略会議</li> </ul> <p>■地元の製品の知識を高め、生産者が自信を持って売れる「知産知消」の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田食育“地域の宝”プロジェクト</li> <li>・「夢を育む・農村のまち竹田市」としての情報発信による消費者へのアプローチ</li> </ul> <p>・国 25,000 千円 市 2,116 千円 計 27,116 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規栽培戸数の増 3 戸増</li> <li>・知産知消マイスターの人材育成 5 人</li> </ul> <p>新商品、新食品の開発件数 2 件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専用 HP の立上げ 1 本</li> </ul>	農政課・ 保険健康課	<p>■全国レベルの農産物に竹田ならではの付加価値を付ける「プレミアムブランディング」の推進</p> <p>施設修繕 委託料（商品開発、PRポスター他） その他 計 10,438 千円</p> <p>■地元の製品の知識を高め、生産者が自信を持って売れる「知産知消」の取組</p> <p>委託料（知産知消マイスター養成他） その他 計 6,233 千円</p> <p>■「夢を育む・農村のまち竹田市」としての情報発信による消費者へのアプローチ</p> <p>委託料（事業推進PR） 5,462 千円 合計 22,133 千円</p>	
②“人間磁場”が渦巻く「竹田クリエイティブ・シティー」構想の実践 (単独事業分)	H28.3 ～ H29.3	<p>■「メディカル・ファッション」学院構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エビデンス調査</li> </ul> <p>■竹田草木染め学院構想 紺屋の里 Project.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染め製品の開発、販売</li> </ul> <p>■竹田市T A O芸術村&amp;和太鼓学院構想</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住人口の増 10 名</li> <li>・雇用の創出 3 名</li> <li>・観光入込客数の増</li> <li>・新商品の開</li> </ul>	企画情報課 観光課 直入支所	<p>何れの学院についても環境整備を行ったのみ。</p> <p>■「メディカル・ファッション」学院構想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラム作成、写真集の発刊、ファッションショー開催、施設整備 等</li> </ul> <p>9,131 千円</p>	

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国 40,000 千円 市 3,781 千円 計 43,781 千円</li> </ul>	発及び地域プログラム の創出件数 5 件		<ul style="list-style-type: none"> <li>■竹田草木染め学院構想 紺屋の里 Project. ・構想策定、環境整備、染め製品の開発 等 6,286 千円</li> <li>■竹田市T A O芸術村&amp;和太鼓学院構想 ・カリキュラム作成、構想策定 等 10,800, 千円</li> </ul>	
③地域就農システム確立事業 (広域連携事業)	H28.3 ～ H29.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「新たな担い手への優良農地の提供」、 「空き家バンク情報などと連携」し、担 い手の確保から、育成、農地確保、就 農、居住までワンストップで対応する地 域就農システムを確立</li> <li>・国 10,000 千円 市 244 千円 計 10,224 千円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就農学校及 びファーマ ーズスクールか らの就農者数 5 名</li> </ul>	農林整備課	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地域就農システムの構築 委託料 7,532 千円 人件費 2,120 千円</li> </ul>	
④ものづくり産 業地域連携推進 事業	H28.3 ～ H29.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>■生産性及び付加価値の向上、国内外 販路開拓 (負担割合・補助上限)</li> <li>・県 1/4・5,000 千円、市町村 1/4・ 5,000 千円、事業者等 1/2、補助対象 経費上限 20,000 千円</li> </ul>	中小製造業の 製造品出荷額 工業：10.4% 食品：5.5% (伸率)	商工観光課	<ul style="list-style-type: none"> <li>★★★(株) 加工食品の販売を実施するための 施設整備 3,091 千円</li> </ul>	

□地方創生推進交付金（H28）

事業名	事業期間	事業の概要	事業K P I	所管課	事業実績の概要	実績K P I
①世界に冠たる温泉資源を活用した健康療養地形成事業	H28.10 ～ H29.3	<p>■健康寿命の延伸と医療費の削減のための予防医療・健康づくりの人材・組織づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな職業の創出、雇用の促進</li> </ul> <p>■温泉の入浴・飲泉による医科学的調査によるエビデンスの蓄積と利活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療費の削減、観光客数の増</li> </ul> <p>■予防医療の仕組み・中長期滞在型のプログラムの整備と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数の増</li> </ul> <p>・国 12,530 千円 市 12,530 千円 計 25,060 千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光消費額の増 (H28、▲ 3,879,312 千円)</li> <li>・観光客数の増 (H28、▲ 996,203 人)</li> <li>・温泉利用型健康増進施設における有資格者の配置及び人材育成実績数 (H28、20 名)</li> </ul>	商工観光課 保険健康課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温泉入浴指導員養成講座実施 平成28年10月16日・19日の2日間実施 21名参加</li> <li>・温泉利用指導者養成講習会受講 平成28年10月6日～13日 8日間講習を2名受け資格取得</li> <li>・竹田市総合インストラクター養成講座実施 平成28年10月21日～平成29年2月28日 49講座 20名資格取得・温泉の入浴、飲泉による医療学的調査 (温泉入浴分) 5,404,800 円 (飲泉分) 4,320,000 円</li> <li>・情報発信プロモーション事業 2件、4,963,900 円</li> </ul>	
②竹田アグリツアービューション事業・九州竹田産ホップ栽培への挑戦	H28.11 ～ H29.3	九州産ホップ竹田研究会の発足ホップ実証圃場の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹田に興味を持った人の数</li> <li>・空き家バンクへの登録者数</li> <li>・誘致企業数</li> </ul> <p>・国 3,650 千円 市 3,650 千円 計 7,300 千円</p>	農政課	九州で栽培事例の無いビールの原料であるホップ栽培に挑戦し、景観形成の導入及び主産業である観光と農業の波及効果を狙い、大手企業との協調による農業地帯である竹田市のPR及び地域活性化に取り組んだ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証圃栽培棚設置 5,066</li> </ul>

					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 圃場借上及び管理      1,035</li> <li>・ 苗ほか                      1,016</li> <li>・ 国 3,558 千円    市 3,559 千円</li> <li style="text-align: right;">計 <u>7,117 千円</u></li> </ul>	
--	--	--	--	--	---	--